



2024年10月22日

各 位

会社名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード：4563 東証グロース)

**アンジェスクリニカルリサーチラボラトリーが遺伝学的検査の対象疾患を拡大し
ホームページをリニューアル**

希少遺伝性疾患検査を主目的とした衛生検査所「アンジェスクリニカルリサーチラボラトリー」(以下、「ACRL」という)において、遺伝学的検査の対象疾患を拡大新生児スクリーニングの対象疾患(7疾患^(*))に拡大するとともに、ホームページをリニューアルいたしました。[\(https://www.acrl.jp/\)](https://www.acrl.jp/)

遺伝学的検査は、特定の遺伝子について、何らかの変異が起こっていないかを確認する検査で、希少遺伝性疾患かどうかを確定するために必要な検査になります。

当社では、拡大新生児スクリーニング検査に加え遺伝学的検査を受託することで、小児科の先生方がスクリーニングで陽性となった被験者の確定検査を一貫して依頼できる体制とし、医療従事者の方々の負荷軽減に貢献できるものと考えております。

ACRLでは、ゾキンヴィの発売に合わせその対象疾患であるハッチンソン・ギルフォード・プロジェリア症候群(HGPS)及びプロセシング不全性のプロジェロイド・ラミノパチー(PDPL)の遺伝学的検査の受託を開始していましたが、この度、拡大新生児マススクリーニング検査の対象疾患に関する遺伝学的検査を一貫して提供できる体制を構築いたしました。

当社では、企業理念である「治療法がない疾病分野や難病、希少疾患などを対象にした革新的な遺伝子医薬の開発・実用化を通じて、人々の健康と希望にあふれた暮らしの実現に貢献する」に従い、この検査事業によって少しでも多くの方が希少疾患の早期発見、早期治療できる社会を目指してまいります。

以 上

*拡大新生児スクリーニング検査の7疾患

ムコ多糖症Ⅰ型、Ⅱ型、ⅣA型、Ⅵ型、ファブリー病、ポンペ病、副腎白質ジストロフィー(ALD)